

全国大会で桐生アピール

県産シヨールとタンクトップ

広沢の堀美奈子さん (インストラクター)



シルクで桐生をアピールしてきました。健康運動指導士でフィットネスインストラクターの堀美奈子さん(桐生市広沢町四丁目)が、東京で開かれた「全国健康・体力づくり推進フォーラム2006」の第5回フィットネスダンス全国大会に出場、県産のシルクを原料に桐生の会社で作ったオールシルクのタンクトップとシヨールを身にまとい、ダンスを披露した。「特産であるシルクを着て踊るといふ念願がかなった。これからもこれを着て桐生や群馬を宣伝したい」と話している。

ミラノリブが製作

同大会は日本エアロビクスフィットネス協会の主催で11月25日に開催。自由曲部門と課題曲部門があり、18組が参加。堀さんは佐波医師会成人病健診センター(伊勢崎市)のサークルで指導している大山雅子さん(61)と

シルクのタンクトップとシヨールを身に付けた堀さん(左)と笹口社長(右)。堀さんの左右は大山さんと石田さん(ミラノリブで)

石田博子さん(61)と3人で課題曲部門に出場した。同部門は美空ひばりの「人生一路」の曲に合わせてたフィットネスダンスの振り付けを考案し、それを披露するもの。鹿児島、沖縄、埼玉、神奈川、岐阜、京都などから参加があり、群馬からは堀さんのグループだけだった。

昨年、群馬地区のサークルメンバーとともに同大会に出場した堀さん。「今回は、シルクのふるさと・群馬から参加していることを強くアピールしたい」と、自身の衣装をオリジナル・シルクニットを製造販売するミラノリブ(桐生市本町二丁目)の

「ぐんま200」という県産生糸を使った製品で、シヨールには少しばかりの銀糸も使用し、さらに、

「ぐんま200」という県産生糸を使った製品で、シヨールには少しばかりの銀糸も使用し、さらに、

びやかに。「舞台はえさることとスポーティーさを兼ね備えた衣装を、という依頼でした。時間がなかったのですが、なんとか間に合いました。シルク製品を身に付けて踊りたいという堀さんの熱意が伝わってきたので、こちらも力が入りました」と笹口さん。

「機会あるたびに」

堀さんは「落ち着いて踊れ、群馬と桐生をアピールできたと思う。笹口さんには無理をしてもらい、感謝しています。これからはこの衣装で、機会があるたびにシルクの桐生を宣伝したい」と話している。

餃子・給食弁当・仕出し・惣菜

(株)おざわ

笠懸町鹿2532 電話76-7725(代) FAX76-4450

「次こそ近畿の壁破る」

中学生ラグビー 群馬選抜が4位に

中学生ラグビー(12人制)の各地域選抜チームが日本一を争う「第12回全国ジュニアラグビー大会」(日本ラグビー協会主催)は12月31日、大阪・花園ラグビー場で第2プロ

予選を勝ち抜いた16の選



群馬県方)

抜チーム(関東7、関西7、九州2)が参加。8チームごとの2ブロックに分かれて覇を競った。

群馬選抜は、22人中11人が桐生・伊勢崎両地区の中学生地域クラブ「シルクス・ラグビースクール」(星野勝監督、54人)から選ばれたメンバーだ。

今大会では初戦で中国スクール選抜を破って念願の4強入り。準決勝で魚沼の丘中学校交遊友